

こどもひかりプロジェクトの1年 2013

2013年度（平成25年度）事業報告書

2013年4月1日～2014年3月31日まで



全国のミュージアムが力を合わせて東日本大震災被災地の子どもたちを元気づける「こども☆ひかりプロジェクト」、3年目となります。こども☆ひかりフェスティバルは、3ヶ所で開催し、たくさんの来場者を得て、大好評でした。あらたに、若者とのコラボレーションの取り組み「ミュージアムネットワークでユースの社会力UP！プロジェクト」と、子どもたちへ自然素材をプレゼントする「2個にこプログラム」を開始しました。若者たちは、ミュージアムと子どもたちをつなぎ、大きく発展させるエネルギーを持っています。「2個にこ」では、人のつながりの温かさを実感しました。ミュージアムの可能性をあらためて感じた1年でした。



事業

主催事業

フェスティバル

子ども☆ひかりフェスティバル in せんだい／ふくしま

東日本大震災被災地の子どもたちを元気づけるため、ミュージアムが保有する本物の資料と全国から駆けつけた専門家に直接触れる体験を通して、子どもたちの喪失感を緩和し前向きに歩む意欲を高めることをねらいとして実施しました。

子ども☆ひかりフェスティバル in せんだい
2013年6月8日(土)10:00～15:00 仙台市農業園芸センター
後援：仙台市、仙台市教育委員会、宮城県、宮城県教育委員会、全国科学館連携協議会、全国美術館会議
プレゼント出展：福島市教育委員会文化課、NPO法人テイクオフみさわ、日本宇宙少年団みさわ分団、神戸ファッション美術館、公益財団法人白鶴美術館、アエル(株)、デザインファーム(株)、丸善書店(株)、(株)オフィスベンダー、(株)ポケモンセンター、(株)エムジョイ、木本生花(株)、(株)日清製粉グループ本社
来場者数 3,000名・たいけん者数 8,143名／16プログラム・スタッフ 51名・学生ボランティア 52名

子ども☆ひかりフェスティバル in ふくしま
2013年6月9日(日)10:00～15:00 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館
後援：福島県・福島県教育委員会・福島市・福島市教育委員会
プレゼント出展：仙台に同じ。
来場者数 2,653名・たいけん者数 5,946名／16プログラム・スタッフ 44名・学生ボランティア 32名

(助成：子どもゆめ基金)



子ども☆ひかりフェスティバル in せんだい (1～3)

子ども☆ひかりフェスティバル in ふくしま (4、5)



子ども☆ひかりフェスティバル in せんだいのスタッフ

こども☆ひかり キラキラ復興フェスティバル

岩手県ではじめてのフェスティバルでした。好天にも恵まれ、二日間とも、朝早くから、たくさんの家族連れが来てくれました。

こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル
2013年6月29日(土)・30日(日) 10:00～15:00 岩手県立博物館

後援：日本財団、全国科学館連携協議会、全国美術館会議

協力：盛岡ペットワールド専門学校

プレゼント出展：福島市教育委員会文化課、NPO法人テイクオフみさわ、日本宇宙少年団みさわ分団、神戸ファッション美術館、公益財団法人白鶴美術館、アエル(株)、デザインファーム(株)、丸善書店(株)、(株)オフィスベンダー、(株)ポケモンセンター、(株)エムジョイ

来場者数約3,000名/12プログラム



キャラバン

梁川天神社

神社がミュージアムに！ 保育園の子どもたち、学校帰りの子どもたち、近所の方々など、地域の暖かみを感じたイベントでした。

2013年7月1日(月) 10:00～15:00 梁川天神社

来場者数約200名/3プログラム

いいたて村文化祭

全村避難の飯館村教育委員会からの依頼により、出展しました。

2013年10月26日(土)・27日(日) 10:00～15:00 パルセいざか

来場者数約200名/2プログラム

こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル



梁川天神社 (伊達市)



いいたて村文化祭 (パルセ飯坂, 福島市)

ユースとのコラボレーション

ミュージアムネットワークでユースの社会力UPプロジェクト

東北地方の大学生が、全国のミュージアムの協力を得て、子どもたちを対象とした体験型プログラムを継続的に企画運営するしくみを、4年間で段階的に構築してゆくプロジェクトです。

こども☆ひかりフェスティバルを体験した大学生ボランティアから、ユーススタッフを募集し、ミュージアム訪問研修を経て、仙台市AERでの「ミュージアムストリート」をユース主体で開催しました。

こども☆ひかりミュージアムストリート

ユースのOJTの場として、仙台市の再開発ビルAERの空間を使わせてもらえることになり、ここでのイベントの企画運営をミッションとして、プロジェクトは新たなスタートを切りました。

10月からの数度のミーティングは具体的で緊張感のあるものとなり、回を重ねるごとにチームの結束も強まり、2ヶ月の間に、彼女ら彼らはめざましく成長しました。こども☆ひかりプロジェクトにとって、力強いパートナーです。

こども☆ひかりミュージアムストリート～アエルで会える！全国のミュージアム～
2013年12月22日(日)・23日(月祝) 10:00～15:00 AER 2階アトリウム
来場者数 約2,000名、たいけん者数 1,539名
／8プログラム、スタッフ 35名

(助成:住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラムー活動・研究助成ー)



1



5



2



3



4



6



7

こども☆ひかりミュージアムストリートのようす(1、4～7)

ミュージアム訪問研修(2、京都国立博物館)

ミュージアムストリートの打合せ(3、アエル)株式会社

こども☆ひかり Museum Street
ミュージアムストリート
アエルで会える！全国のミュージアム

2013年12月22日(日)・23日(月祝) 10:00～15:00
AER (アエル) 2階アトリウム

楽しみ、感謝しっ！

メニュー

- ♡ 心算のプリントづくり [20分・15名]
心算のプリントづくりがメインで、アエルの施設紹介のミニ講座もあわせて実施します。
- ♡ 心算のプリントづくり [20分・15名]
心算のプリントづくりがメインで、アエルの施設紹介のミニ講座もあわせて実施します。
- ♡ サイボロギーの体験型プログラム [20分・15名]
サイボロギーの体験型プログラムを実施します。
- ♡ 心算のプリントづくり [20分・15名]
心算のプリントづくりがメインで、アエルの施設紹介のミニ講座もあわせて実施します。

お申し込み・お問い合わせ先
〒980-0001 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台市博物館
TEL: 022-232-1111 (受付時間: 10:00～17:00)

協賛: こども☆ひかりプロジェクト
協賛: 住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラムー活動・研究助成ー

http://www.kodohimari.com

子どもたちへのプレゼント

2個にこプログラム

福島のミュージアム関係者から、木の実など、地元産の自然素材が使いにくいというお話をきき、子どもたちへプレゼントする活動を開始しました。人と人とのリアルなつながりの温かさを実感しました。

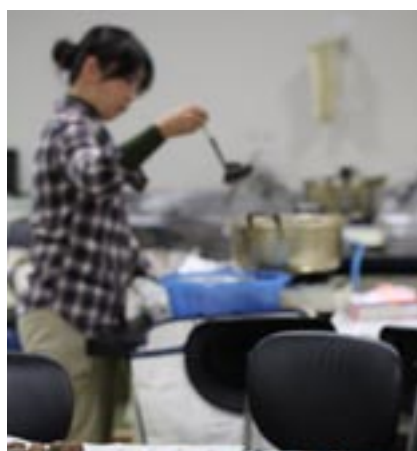
現地での活用：アクアマリンふくしま、ムシテックワールド（ふくしま森の科学体験センター）、福島市小学校理科部会（小学校51校）、飯館村教育委員会、しらうめ保育園（伊達市）、NPO 法人地球の楽好等

全国での収集：北海道開拓記念館、岩手県立博物館、仙台市科学館、仙台市太白山自然観察の森、日本科学未来館、船の科学館、新江ノ島水族館、愛知県陶磁美術館、京都国立博物館、兵庫県立人と自然の博物館、NPO 法人人と自然の会、倉敷市自然史博物館、福岡市美術館、九州国立博物館、石橋美術館、名護博物館等

（助成：全労済地域社会貢献助成）



1



2



3



4



5

全国から集まったまつぼっくりやどんぐりなどの木の実（1）

熱湯消毒作業（2）

オリジナルステッカー（3）

袋に小分けされた木の実（4）

パッキングして発送（5）

研究発表・研究会

AZEC(アジア動物園教育担当者会議) 2013

「人文系と自然系博物館の教育連携」をテーマとした会議にて、こどもひかりプロジェクトや、その内容を含む研究発表を行いました。



AZEC2013 での発表のようす

研究会

ユースとのコラボレーションをテーマとして、こどもひかりの10年後の姿をテーマとして、研究会を開催しました。

2014年3月9日 モンタナリゾート岩沼

「こども☆ひかりプロジェクトに参加して」東北大学 嘉山央基
 「ミュージアムに今できること」仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)運営委員長 佐藤 泰
 「いわて子どもの森でのキャラバン体験」いわて子どもの森チーフプレーリーダー 長崎由紀
 II グループディスカッション 「3年後のこども☆ひかりプロジェクトを考える」
 コーディネーター 福岡市美術館 鬼本佳代子
 参加者 :28名

2014年3月30日 福岡アジア美術館

「想像と創造。私たちのチャレンジ」清水文美(こどもひかりプロジェクト代表)
 「ミュージアムと、コラボと、私・・・」池内 至誠(早稲田大学)
 「2個にこプログラム」～松ぼっくりでつなげる未来～
 泉田 佳代(石橋美術館)
 「未来へ向けて、新ジャーナル発進」
 征矢 彩香(宮城学院女子大学)
 参加者 :36名

Matsuda et al. によるポスター

雑誌掲載・出講など

著作
 三上 響, 2014. こども☆ひかりプロジェクト 大学生と全国のミュージアムがコラボレーション! ミュゼ, 106: 16-17.
 泉田佳代, 2014. こども☆ひかりプロジェクト 「2個にこプログラム」スタート! ミュゼ, 106: 37.
 水谷亜希, 2013. 「こども☆ひかりフェスティバル in せんだい&ふくしま」での出会い. ミュゼ, 104:11-13.
 松村淳子, 2013. 土のあそび「ドット・タウン」児童館と美術館が一緒になってミュゼ, 104:14-15.
 池内一誠, 2014. 東北の子どものためにミュージアムの力を結集する「こども☆ひかりプロジェクト」. 博物館研究

研究発表
 MATSUDA, M., YAGI, T. and SHIMIZU, A. 2013. Kodomo Hikari Project ~Museum Collaboration for Children in Tohoku Region~, AZEC 2013, Fukuoka.
 OCHIAI, H., 2013. The “Cyborg” Workshop -Attempt to get a sense of achievement. AZEC2013, Fukuoka.

出講
 土屋和美・清水文美. 2013. 博物館ボランティアの集い 2013. 北海道大学.
 八木 剛・清水文美, 2013. ミュージアムボランティアのつながり～ネットワークが生むチカラ～. キッズプラザ大阪.
 清水文美, 2014. 『こども☆ひかりプロジェクト』震災を忘れないために. 三田市立武庫小学校 4年生 (兵庫県三田市).

運営

プロジェクトの準備が始まったのは、2011年6月。呼びかけのしかたや趣旨書をつくり、関係者への呼びかけを始めました。2011年11月、団体「こどもひかりプロジェクト」の規約を施行。以後、オフィシャルサイトの開設、グループメールの開設など、少しずつ運営に必要なツールを整えていきました。

ニュースレターを発行しました

こども☆ひかりプロジェクトを応援して下さる方にお送りするニュースレターを新たに制作しました。

2013年5月 A5版 4pp.
2014年3月 A5版 4pp.



フリーペーパー「ミュージアムキッズ！」を発行

ミュージアムの魅力をユースが発信する新たなジャーナルをフリーペーパーとして発行しました。

2014年3月 A5版 16pp.



(助成:住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラムー活動・研究助成一)

パンフレットを制作しました

プロジェクトの概要と支援の方法を記載したパンフレットを、英文入りに改訂しました。

2013年12月 A4版 4pp.

プロジェクトの概要と支援の方法を記載したかわいいパンフレットを、新たに制作しました。

2014年3月 A4版巻3折.



(助成:石橋財団)

TIMELINE

2014年

- 3月末 フリーペーパー「ミュージアムキッズ!」の発行
- 3月30日 公開研究会(福岡アジア美術館)
- 3月9日 研究会(モンタナリゾート岩沼)

2013年

- 12月22日・23日 こども☆ひかりミュージアムストリート〜アエルで会える!全国のミュージアム〜(AER, 仙台市)
- 12月9日〜11日 AZEC
- 12月1日 パンフレット改訂
- 10月26日・27日 いいたて村文化祭(パルセ飯坂, 福島市)
- 7月1日 キャラバン at 梁川天神社(伊達市)
- 6月29日・30日 こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル(岩手県立博物館)
- 6月9日 こども☆ひかりフェスティバル in ふくしま(福島市こむこむ館)
- 6月8日 こども☆ひかりフェスティバル in せんだい(仙台市農業園芸センター)



こどもひかりプロジェクトの1年 2013
2013年度(平成25年度)事業報告書

2014年3月31日

〒669-1546

兵庫県三田市弥生が丘6丁目 兵庫県立人と自然の博物館内

<http://www.kodomohikari.com>